

## 閉会中の調査報告

福祉教育常任委員会

開催日： 平成 25 年 2 月 5 日（火） 9：34～11：13

出席者： 常任委員全員（赤祖父委員長、松原副委員長、鈴木委員、福島委員、植中委員、山本委員松井委員）および議長  
教育部長、教育部管理監、生涯学習課主事  
学校教育課長  
産業建設部長、土木建設課長  
市民環境部長、生活環境課長  
生活環境課主幹



傍聴者： 松山議員

### ○ 通学路の安全確認について

#### ※ 資料

- ・通学路危険箇所対応状況一覧（平成 24 年度 P T A 要望）
- ・湖南省内通学路の対策箇所一覧表（国からの要請による、教育委員会・各学校・土木建設課・生活環境課・滋賀県甲賀土木事務所・甲賀警察署合同点検箇所）
- ・通学路に特化した整備計画について（県への平成 25 年度予算要望箇所）

平成 24 年 12 月 12 日の所管事務調査に引き続き「通学路の安全確認」について、調査した。通学路の危険箇所について、P T A 要望の内容が一目でわかるような台帳が提出された。その内容について説明を受け、各委員から担当課へ質問がなされた。

- 意見
- 公安委員会に要望しても、回答が遅い。子ども達の安全についての認識度について公安委員会からコメントを求める事はできるのか
  - 湖南省全体として最終的な危険箇所の集約が必要である
  - 子ども達自身の交通安全に対する学習が必要
  - 国からの補正予算が組み込まれやすい体制を絶えず意識してとっていく必要があるのではないか
  - 路側帯の消えている箇所については早急に補修する必要がある
  - 既設の「飛び出し坊や」の看板設置位置の高さなどの再点検が必要である

### まとめ

今回、一目でわかるような台帳は出来たが、各課連携した集約にはなっていない。今後も、各課横の連携を取りながら、「通学路に関係する担当者会議」を開催する中で精査して進めて行くことを福祉教育常任委員会として強く要望した。  
通学路の安全確認について、これからも引き続きチェックが必要であると感じた。